

はじめに

平成7年度の科学技術基本法制定の流れを受け、「戦略的基礎研究推進事業」がスタートいたしました。本事業は、「科学技術創造立国」をめざし、明日の科学技術につながる知的資産の形成を図ることを目的とし、大学や国立試験研究機関などの研究ポテンシャルを活用しつつ、重点化した基礎研究を推進するものです。平成12年3月末現在は、総予算額およそ261億円（平成11年度予算）、16の研究領域で、244の研究テーマが実施されています。

戦略的基礎研究推進事業がスタートして既に4年余りが経過し、その間、数多くの研究成果を挙げてまいりました。これまで、国内及び海外で発表された論文数は、累計で数千件にも達しております。また、特許の取得等にも積極的に努めており、現在、戦略事業の成果として公開された特許は120件あまりにのぼっており、その他、現在出願中のものも含めまして、いずれ企業等によって実用化されることを期待しております。

今後も、事業団は、戦略的基礎研究推進事業を通じ、将来の科学技術に大きなインパクトをもたらす、国際的にも高く評価されうる成果を得、将来の新産業創出にもつながるよう努めてまいります。

このたび、昨年度に引き続きまして、平成11年度に実施した研究の概要および発表した論文リストを、244名の研究代表者ごとに掲載した「研究年報」として発刊させていただくこととなりました。皆様方に広くお読みいただきまして、ここに収録しました研究成果を参考に供していただき、また、幅広くご意見を賜ることができれば幸いに存じます。

平成12年10月

科学技術振興事業団
基礎研究推進部
部長 林 俊一